

# みやぎ・復興の歩み

今年3月で東日本大震災の発生から12年を迎えます。

県内では、内陸部と沿岸部の東西連携を強化する復興支援道路の整備など、大規模災害時に有効に機能する防災道路ネットワークの構築を進めるとともに、沿岸市町の「復興まちづくり」を支援するため、多重防御機能を有する道路や、防災集団移転地間等を結ぶ復興道路の整備を進めてきました。

全国からの応援職員延べ1200人以上の方々にもご尽力いただき、道路の復旧・復興がおおむね完了しました。

ここでは、完成した道路や伝承施設、震災伝承に向けた取り組みをご紹介します。

## 南三陸311メモリアル(令和4年10月開館)

「道の駅さんさん南三陸」内に開館した震災伝承施設です。

町民の証言映像を基に、自分自身のこととして自然災害について学び合うラーニングシアターのほか、命の尊さを知るアートゾーン、あの日の現実に出会う展示ギャラリーなどが特徴的な施設です。



## 気仙沼大島大橋(平成31年4月開通)

復興のシンボルであるこの橋の開通により、大島と本土が陸路でつながり、大島地区住民の日常生活における利便性の向上や救急医療活動の迅速化、観光交流や産業の活性化などに効果が表れています。



## みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区)(令和3年12月開通)

復興支援道路として整備を進めてきたこの道路の開通により、既に開通している区間と一体となって、沿岸部と内陸部を結ぶ信頼性の高い広域道路ネットワークが形成されました。

これにより、登米市中心部の交通渋滞の緩和や、県北地域の産業・観光振興、救急医療活動への支援などに寄与しています。



## 一般県道石巻女川線浦宿工区(令和4年3月開通)

万石浦に架かる浦宿橋を含むバイパスの開通により、石巻市と女川町を結ぶ安全で円滑な交通が確保されました。

これにより、地域の水産業や観光振興をはじめとした地域活性化に寄与しています。



## 坂元・山寺復興道路(令和3年3月開通)

山元町の復興まちづくり支援のため整備を進めてきたこの道路の開通により、高盛土道路背後地での津波被害の防御・減災機能に加え、福島県沿岸北部との広域道路ネットワークが強化されました。

これにより、地域間交流の促進や観光振興などにも寄与しています。



## 山元町震災遺構中浜小学校(令和2年9月開館)

2階天井近くまで津波が到達したものの、児童ら90人の命を守り抜いた校舎を被災したままの状態一般公開しています。

津波の痕跡や当時を振り返る映像、一夜を明かした屋根裏倉庫、日時計、モニュメントなど、震災について時の流れを感じながら考えることができます。



## 都市計画道路 門脇流留線(令和4年3月開通)

東松島市境から石巻市渡波地区に至る沿岸部の各地区を結ぶ道路として、地域の防災機能の強化を図り、緊急輸送路としての役割を担っています。

また、水産業や観光振興などの地域活性化にも寄与しています。



## 石巻市震災遺構門脇小学校(令和4年4月開館)

津波火災の痕跡を残す唯一の震災遺構として、平時からの訓練や地域を知ることの大切さ、自然とともに育まれた命の尊さを伝えています。遺構と展示館があり、校庭の要所にも解説パネルを設置しています。

展示館では、実物資料をはじめ、体験者の証言や映像、過去の津波について学ぶことができます。



- 復興道路・復興支援道路について …… 道路課 ☎022(211)3163
- 都市計画道路について …… 都市計画課 ☎022(211)3136
- 伝承施設・震災伝承について …… 復興支援・伝承課 ☎022(211)2443

## 広報紙『Baton』発行中

毎号「災害と〇〇」とテーマを設けており、震災当時のエピソードのほか、災害を「じぶんごと」として考えるための「じぶんごとワーク」のほか、「きて・みて」では県内各地の伝承施設とその周辺情報などを掲載しています。

また、YouTubeでは広報紙に関連する動画も公開中です。

広報紙はこちらから



## 3月11日は「みやぎ鎮魂の日」

東日本大震災が発生した午後2時46分に、亡くなられた方々のご冥福を祈り、1分間の黙とうをお願いします。

【追悼献花】東日本大震災で亡くなられた方々を追悼するため、献花台を設置します。

◎3月11日(土) 午前9時～午後5時

●県庁(行政庁舎)

●グランディ・21セキスイハイムサブアリーナ(総合体育館サブアリーナ)